

日付 (LST)	測線 No.		時間 (LST)	曳航体				水深 (m) : A+B	海域	備考
				緯度(10進数)	経度(10進数)	A:CTD 深度(m)	B:高度(m)			
2012/3/8 (Leg1)	DT-1 C	Start	9:06	37.88288	142.37723	898.8	50	948.8	仙台沖	4KC+Seabat7125による精密地形調査と瓦礫マッピングを実施。 曳航高度は50~80m(15:30以降100m)、曳航速度は1.0knt (15:30以降1.5knt)。 Start時の高度値は、高度計不安定のため本船直下水深と CTD深度との差を用いた。
		End	16:30	37.88120	142.20283	649.4	102.8	752.2		
2012/3/9 (Leg1)	DT-2 C	Start	9:33	38.08447	142.37798	924	84.9	1008.8	仙台沖	4KC+Seabat7125による精密地形調査と瓦礫マッピングを実施。 曳航高度は80m、曳航速度は1.5knt。 ①漁船接近により測線中断。ケーブル長200mまで巻き上げ、本船を東へ回頭。 元の測線の南側を東進する測線へ移動開始。 ②曳航高度80mまで降下し、測線再開。
		①	14:00	38.08078	142.24562	801.3	67	868.4		
		②	14:34	38.07880	142.24315	782.7	81.6	864.3		
		End	16:30	38.07942	142.30100	857.8	81.1	938.9		
2012/3/11 (Leg1)	DT-3 C	Start	9:22	38.50208	141.97500	218.3	100	318.3	仙台沖	4KC+Seabat7125による精密地形調査と瓦礫マッピングを実施。 曳航高度は100m、曳航速度は1.3knt。 Seabat7125との干渉を避けるため高度計は使用していない。 本船直下水深とCTD深度との差を100mに保持した。
		End	16:30	38.65527	141.97505	207.8	100	307.8		
2012/3/12 (Leg1)	DT-4 C	Start	7:29	38.50100	142.05002	342.8	100	442.8	仙台沖	4KC+Seabat7125による精密地形調査と瓦礫マッピングを実施。 曳航高度は100m、曳航速度は1.3knt。 Seabat7125との干渉を避けるため高度計は使用していない。 本船直下水深とCTD深度との差を100mに保持した。
		End	14:17	38.65295	142.05058	295.1	100	395.1		
2012/3/14 (Leg1)	DT-5 C	Start	7:30	38.83387	142.06707	249.5	110	359.5	仙台沖	4KC+Seabat7125による精密地形調査と瓦礫マッピングを実施。 曳航高度は110m、曳航速度は1.5knt。 Seabat7125との干渉を避けるため高度計は使用していない。 本船直下水深とCTD深度との差を110mに保持した。
		End	13:40	38.98278	142.11152	241.6	110	351.6		